



研究主題

9年間を見通した小中一貫教育の推進

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～



聴き合い、深め合う

仲間を愛し、大切に

新たな挑戦や気付き



あいさつ

校長 市川篤史

本校は、「夢を叶える学校」を目指しています。

今年の7月28日、東京オリンピックで本校の卒業生である新井千鶴さんが柔道女子個人70Kg級で優勝し金メダルを取りました。あの感動からちょうど3カ月が過ぎた10月28日、東京オリンピックの報告ということで千鶴さんが本校に来校してくださいました。本校に隣接し、小中一貫教育を共に研究している男衾小学校の5・6年生の児童と本校の生徒たちを前にして、千鶴さんが次のような話をしてくださいました。

オリンピックでは、ここにいる小学生、中学生の皆さんをはじめ男衾の多くの皆さんが応援してくださいましたことが自分にとって大きな力となりました。試合前には、応援の鶴文字や皆さんからのメッセージを見て、それを自分の力にしました。そして、オリンピックが終わった時には、早く皆さんの前で報告したい、お礼を伝えたいと思っていたので、それが今日、叶えられたことが私にとっては一番嬉しいことです。本当にありがとうございました。そして、皆さんには次のことを伝えたいと思います。

- ・夢はあきらめなければ必ず叶います。
- ・続けることが大切です。
- ・チャレンジする気持ちと、感謝することを絶対に忘れないでください。

児童生徒一人一人はもちろんのこと、我々教職員の心にも響く素敵なお話でした。私は、このお話や新井千鶴さんがこれまでに歩んできた道程、過程こそが、進路指導・キャリア教育が求めている姿や育てたい資質・能力そのものであると認識いたしました。

このたびの進路指導・キャリア教育について研究する機会をいただいたことで、私たちは、学校の様々な教育活動や日々の授業等において、本研究に関することや目指す学校像である「夢を叶える」ために何をすべきか等のことを常に意識しながら生徒への指導や支援に具体的にあたることができました。

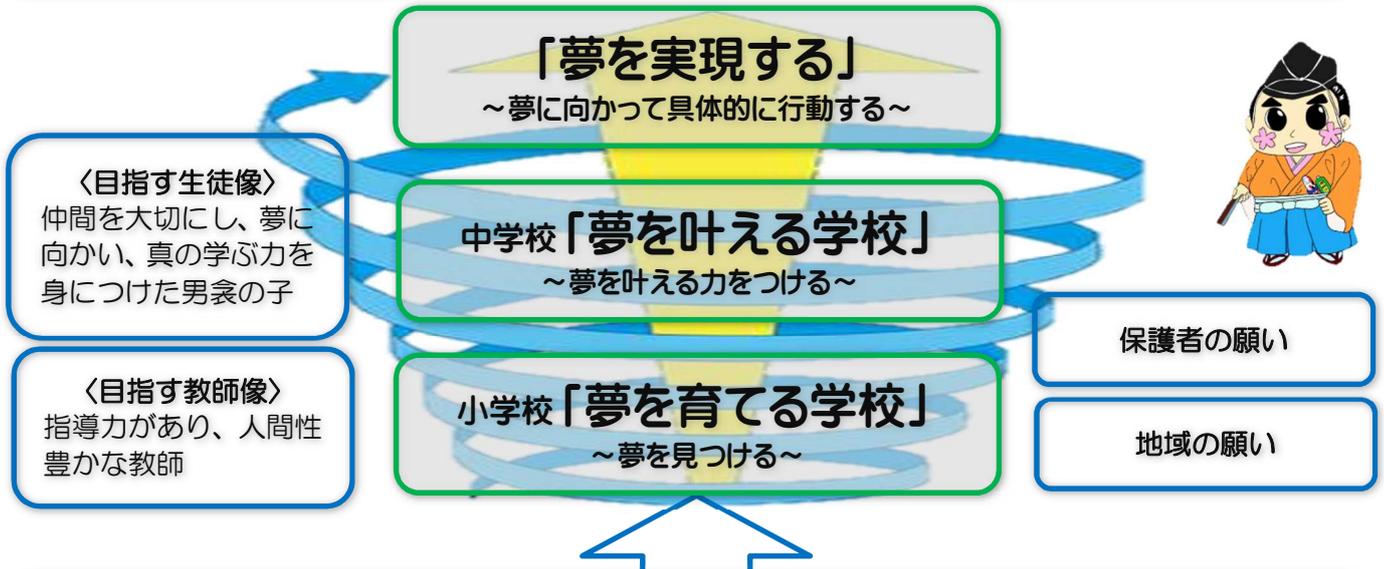
改めてこのような機会をくださった埼玉県進路指導・キャリア教育研究会及び寄居町教育委員会、そして、御指導してくださいました埼玉純真短期大学の原口政明先生をはじめ、かかわってくださったすべての先生方に心から感謝を申し上げまして、あいさつといたします。本当にありがとうございました。

1 研究の概要

(1) 研究の構想

学校教育目標「**真の学ぶ力を身につけ たくましく生きる生徒の育成**」

・自ら学ぶ生徒(知) ・心豊かな生徒(徳) ・たくましい生徒(体)



研究主題「9年間を見通した小中一貫教育の推進」

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

〈研究仮説〉

学力部

学び合いを計画的に取り入れた授業を展開することで、生徒の聴き合い、深め合う関係性を強めることができる。

道徳・人権部

道徳教育および人権教育に、全教員が協力して臨むことで、仲間を愛し、大切に作る生徒を育てることができる。

環境部

生徒の学習環境を整備することで、新たな挑戦や気づきを生むことができる。

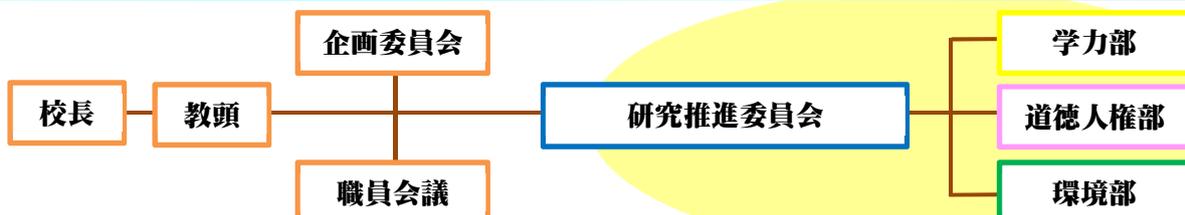
〈主題設定の理由〉

男衾中学校区の学校教育の充実に向け、男衾小学校の「夢を育てる学校」をうけ、中学校では、「夢を叶える学校」を掲げている。小グループ等における学び合いを通して、仲間を愛し、夢に向かい、真の学ぶ力を身につけた男衾の子供たちの育成を図ることが、地元を愛する大人につながる。

また、本学区の多くの生徒は、9年間同じ仲間と学んでいる。様々な関係が固定され、新たな挑戦や気づきを生む環境が必要である。そこで、協働的な学びである、学び合いを通して、聴き合い、深め合う関係性を強め、級友を学び合う仲間として、つながりを深めるよう後押ししていく必要がある。

以上の視点から、本研究の主題を設定した。

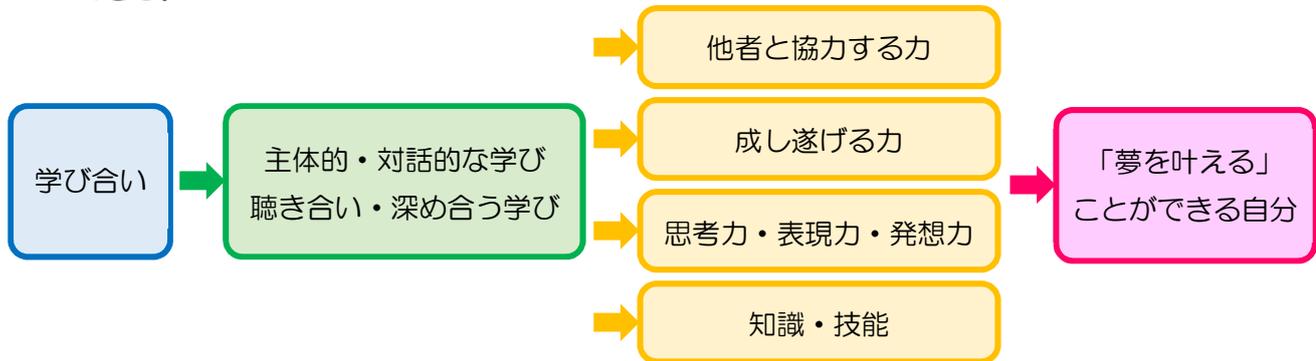
(2) 研究の組織



2 学力部の取組

(1) 学力部の研究仮説

学び合いを計画的に取り入れた授業を展開することで、生徒の聴き合い、深め合う関係性を強めることができる。



(2) 学力部の実践

実践①：学び合い学習の環境づくり

- ・教室の座席配置や学習班に基本的なルールを設定
- ・学びに向かう生徒の姿勢や教師の意識を統一

【座席・学習班の工夫】

○男女交互市松模様の座席配置

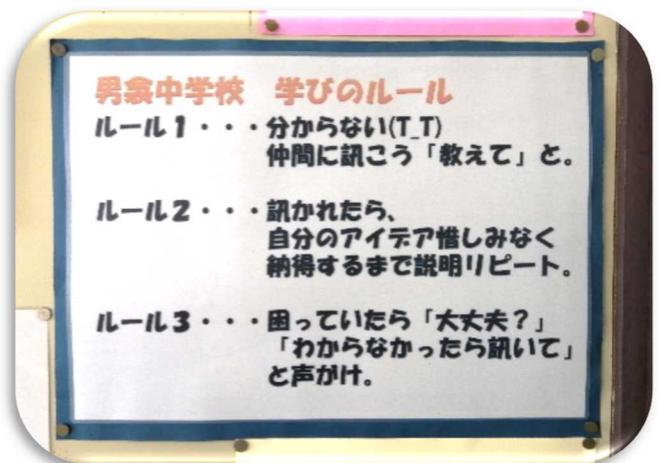


○男女交互市松模様の4人組学習班



【生徒の学び方】

○「男衾中学校学びのルール」の作成と掲示



【教師の意識】

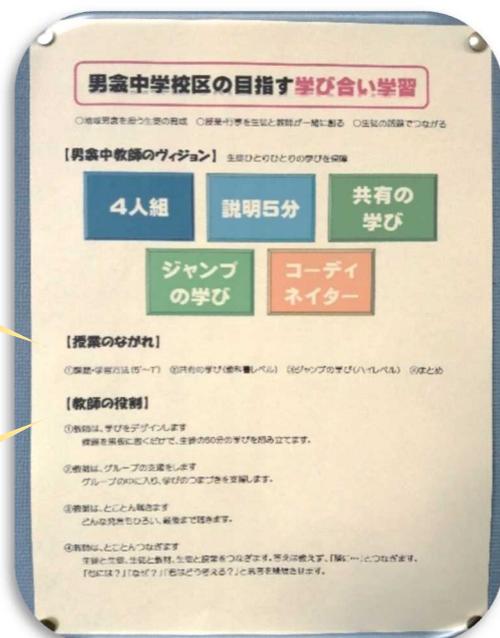
○「男衾中学校区の学び合い学習」の作成と教師の意識統一

授業のながれ

- ①課題・学習方法
- ②共有の学び(教科書の内容)
- ③ジャンプの学び(発展的な内容)
- ④まとめ

教師の役割

- ①学びをデザイン
- ②グループを支援
- ③とことん聴く
- ④とことんつなぐ



実践②：学び合い研修

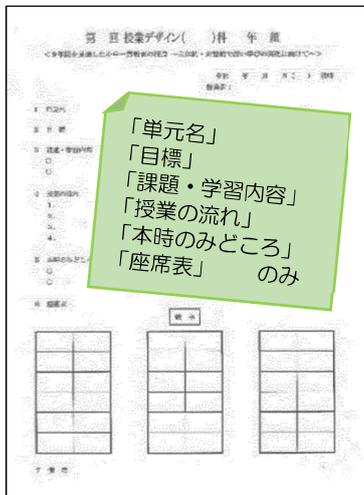
- 学期に1回の全体研修
- 年間に1人1回以上の研究授業
- 学年職員単位でのブロック研修



【研究授業の工夫】

○指導案

- A4 用紙片面1枚の「授業デザイン」で負担を軽減



○授業参観のルール

- 事前に決めた学習班を見る。
- 教師の教え方ではなく、生徒の学び方を見る。
- 生徒には話しかけない、教えない。

○研究協議のしかた

- 研究協議もグループで学び合う。
- 教師の話ではなく、生徒の話をする。

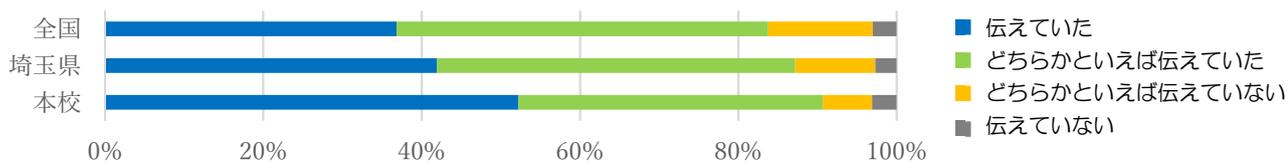


(3) 学び合いの成果

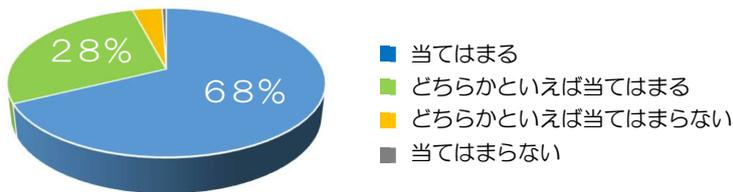
学び合いをすべての教科で計画的に行うことは、主体的・対話的で深い学びの実施につながり、生徒の聴き合う関係を向上させることができた。また、学び合いが、自分の学習や将来に役立つものと感じている生徒が非常に多い。結果として、学力にも伸びが確認された。

【質問紙より】

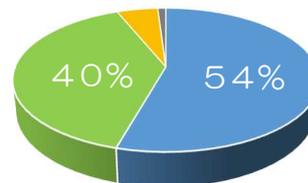
話し合い活動では、話し合う内容を理解し、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。(R3 全国学調)



学び合いは、自分の学習に役立つと感じたことがある。(学校アンケート)



仲間と学び合う活動は、自分の将来に役立つ活動だと感じる。(学校アンケート)



【R3 埼玉県学力・学習状況調査分析データより】

令和2年度から3年度にかけて伸びた生徒の人数の割合 / 主体的・対話的で深い学びの実施 (県平均を 100 とした場合)

伸びた生徒の人数の割合					主体的・対話的で深い学びの実施
2 年国語	2 年数学	3 年国語	3 年数学	3 年英語	
103.5	105.3	102.2	92.5	106.1	110.2

3 道徳・人権部の取組

(1) ～抽象的な考えと具体的な考えが行き来する～『聴く・繋ぐ・戻す』授業スタイルの確立

話し合いの優先（男衾中スタイル）

＜書いてから話し合い＞の流れで授業が進むと、書くことに集中してしまい話し合いが発展せず、深い学びにつながりにくくなることから、発問後すぐに話し合うことを推奨した。



生徒の発言やつぶやきを聴き、様々な意見や考えを引き出していく。その流れをくり返し、より深い学びへ繋いでいく。

ねらいを提示後に、抽象的な問題意識を持たせ、アンケートや出てきた意見から学びに入っていく。

聴く

深い学び

戻す

繋ぐ



意見が深まっていく中で、主題について自分自身と結び付けるなど、個に返す活動を行う。



「生徒が意見を言って終わり」ではなく「なぜ?」「どうして?」と切り返したり、他の班員に話を振ったりするなどして、たくさんの意見を出させる。少数意見を掘り下げていくと話が深まりやすい。（多面的・多角的な考え、深い学び）

(2) 男衾中学校 いじめ撲滅宣言

生徒会が中心となりいじめ撲滅宣言が制定されていましたが、今年度の生徒総会において新たな文言『全員の幸せを願います』が加わりました。生徒全員で考えその制定に携わったということもあり、宣言の定着や意識付けに大きく貢献しています。また、校舎内に生徒が描いた啓発ポスターを掲示し、更に意識を高めています。

男衾中学校 いじめ撲滅宣言

- ・暴言・暴力・差別無く、笑顔で人に接します
- ・愛を持った行動をします
- ・周りで困っている人を助けます
- ・全員の幸せを願います



4 環境部の取組

(1) 環境の整備



高校のポスターを掲示
進学への意欲を高める



『夢』に関する掲示物



先輩(卒業生)からのエール

(2) 進路に向けた取り組み

◎キャリアパスポート

キャリア・パスポート (高等学校提出用)
～小・中学校9年間のまどめ～
記入日 令和3年3月 + B

(1) 小学校の記憶を振り返ってみよう!
① 小学校で楽しかったことは? **警察官**
② 小学校で頑張ったことは? **小学校のときの夢**
③ 小学校で学んだことは? **小学校のときの夢**

(2) 中学校3年間の振り返り
① 中学校で楽しかったことは? **公務員(警察官)学校の先生**
② 中学校で頑張ったことは? **中学校のときの夢**
③ 中学校で学んだことは? **中学校のときの夢**

(3) 自分自身と向き合ってみよう!
① 将来の夢は? **人のために仕事をしている人**
② 夢を叶えるために必要なことは? **18歳の自分**
③ 夢を叶えるために必要なことは? **18歳の自分**

(4) 4月からの進路に向けて!
① 4月からの進路について、何をしたいか? **学習についていけるか**
② 4月からの進路について、何をしたいか? **学習についていけるか**

寄居町立男会中学校 No. 3210

キャリア・パスポート (高等学校提出用)
～小・中学校9年間のまどめ～
記入日 令和3年3月 + B

(1) 小学校の記憶を振り返ってみよう!
① 小学校で楽しかったことは? **公園遊び**
② 小学校で頑張ったことは? **読書**
③ 小学校で学んだことは? **読書**

(2) 中学校3年間の振り返り
① 中学校で楽しかったことは? **読書**
② 中学校で頑張ったことは? **読書**
③ 中学校で学んだことは? **読書**

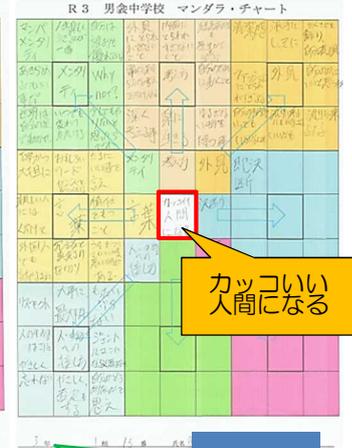
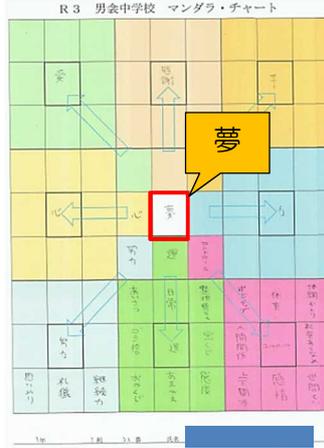
(3) 自分自身と向き合ってみよう!
① 将来の夢は? **読書**
② 夢を叶えるために必要なことは? **読書**
③ 夢を叶えるために必要なことは? **読書**

(4) 4月からの進路に向けて!
① 4月からの進路について、何をしたいか? **読書**
② 4月からの進路について、何をしたいか? **読書**

寄居町立男会中学校 No. 3212

小学校で夢を考え、中学校で選択肢を広げ、
大人になったときの姿を想像する。

◎マンダラチャート



カッコいい
人間になる

マンダラチャート(思考ツール)の手法を取り入れ、
夢について具体的な行動を考える。

◎先輩に学ぶ



地域の方々と凧作り。



設楽悠太さん(リオ五輪選手)と授業。



(株)Cy.games 執行役員/デザイナー部部長の三ツ間様をお招きし、『夢』について講演していただく。

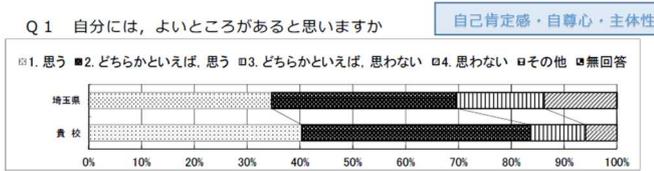


新井千鶴さん(東京五輪選手)にお越しいただき、小中学生に『人生の歩き方』の話をしていただく。

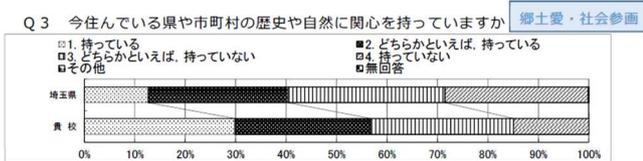
5 成果と課題

(1) 成果～アンケート結果より～

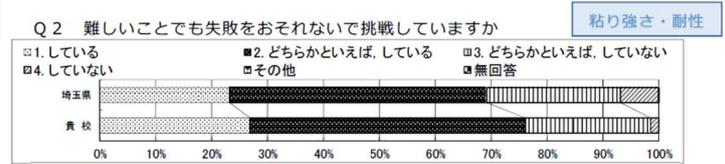
◎県学力・学習状況調査より



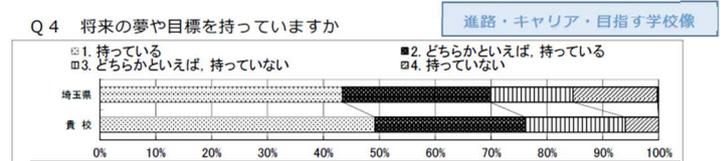
肯定的な回答 埼玉県 69.6% **本校 83.6%**



肯定的な回答 埼玉県 40.4% **本校 56.8%**

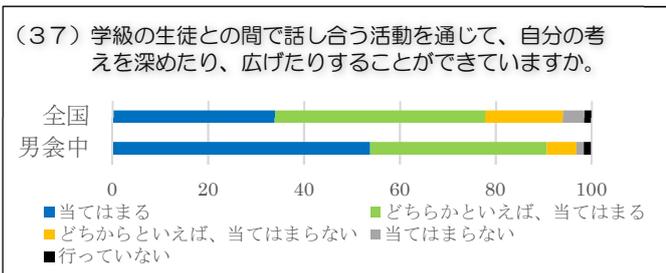
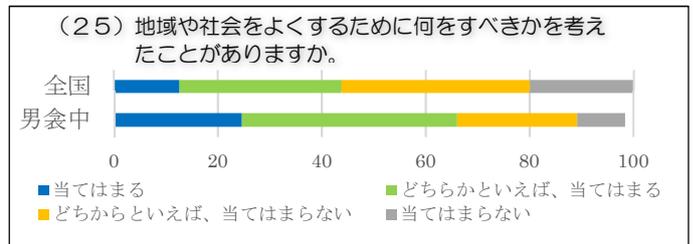
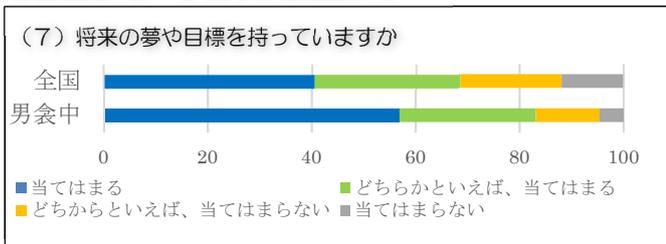


肯定的な回答 埼玉県 69.2% **本校 76.2%**



肯定的な回答 埼玉県 69.7% **本校 75.8%**

◎全国学力・学習状況調査より



◇◇成果◇◇

- 学び合いを計画的に授業に取り入れたことにより、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じる生徒が全国平均を上回った。
- 全教員が道徳の授業を協力して行うことができた。「聴く、繋ぐ、戻す」を行うことで、自分の考えを深めたと感じる生徒が全国平均を大きく上回った。
- 様々な進路に関する掲示物を貼ることで、生徒の意識の向上につながられた。また、地域の方々との交流で、郷土愛を大きく高めることができ、自分の将来について考えるきっかけとなった。
- 将来の夢や目標を持っている生徒が、全国・県の平均を上回った。9年間、『夢』をキーワードに小中学校の職員が一丸となって取り組んだ成果であることが示唆される。

(2) 課題

◇◇課題◇◇

- コロナ禍で小中連携が今までと同じようにできなかったが、これを機に、様々な連携の手法を考える機会にしていく。
- 研究を行ったことによる生徒一人一人の変容をみると、全体的には向上できているが、個人で見ると課題は残されている。
- 将来の夢を実現させるための確かな学力の育成に、今後さらに力を入れていく。

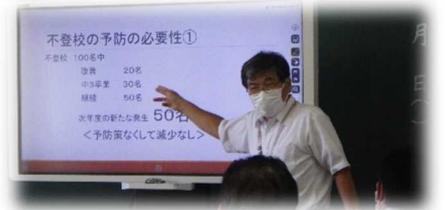
6 指導助言

御指導いただいた先生方

埼玉純真短期大学准教授
寄居町教育委員会教育長
埼玉県北部教育事務所学力向上推進担当指導主事
寄居町教育委員会教育指導課長
寄居町教育委員会教育指導課指導主事
同
同

原口 政明 様
関根 光男 様
中田 朋絵 様
岡田 久志 様
野邊 桂介 様
内田 徳和 様
高橋 寿和 様

生徒の人生を考え、
チームで関われば、
不登校は減る。
学力も向上する。
体力も向上する。



原口准教授による御講義

キャリア教育の本質をしっかりとらえ、取り組んでいただきました。キャリア教育は職業人だけではなく、家庭人、地域社会の一員など、様々な役割を担う人材の育成を目的としています。そして、社会に参画していく自分らしい生き方を実現しようとする基礎的・汎用的能力を養います。

地域・企業との連携によるキャリア教育関連行事にも積極的に取り組んでいただきました。キャリア教育は「体験学習をすればよい」ということではありません。実社会で働いている大人の姿に接することで、「大人はこんな風に学校で学んだことを生かしているんだ」、「学校で学んだことがさらにレベルを上げて生かされるんだ。」「もっと頑張っていこう。」と実感させ、学校での各教科の学習の必要性につなげることが大切です。男衾中学校ではマンダラチャート(思考ツール)を使い、具体的な行動を考えることで学校生活の意欲向上へつなげていました。今後も、キャリア教育を推進し、次の学年へ、そして次の学校へのスパイラルを回していただきたいと思えます。

北部教育事務所 中田朋絵

キャリア教育で育成すべき資質・能力である「基礎的・汎用的能力」は①人間関係・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力があります。

男衾中学校の全教科等の学び合いを通して、①、③の能力を日々耕して頂いております。また、キャリアパスポートの実践を通して、②、④の能力に関して充実を図って頂いております。

キャリアとは、「人が生涯の中で様々な役割を果たす」過程で、「自らの価値や自分との役割との関係を見出ししていく」連なりや積み重ねの事です。それを踏まえて、自分らしい生き方を実現していくことが、キャリア発達と言います。

学び合いがキャリア発達を促し、自立力の育った未来の作り手が確実に育っています。また、予測不可能な社会の変化を生き抜く子供たちを育てて頂いております。まさに学び合い＝キャリア教育であることが証明された素晴らしい研究であると言えます。

寄居町教育委員会指導課指導主事 内田徳和